

一般勘定

収入

健康保険収入 35,812,235千円 93.1%
会社とみなさんが納めた保険料です。

財政調整事業交付金 366,067千円 1.0%
国庫補助金収入 5,369千円 0.01%
調整保険料収入 519,758千円 1.4%

繰越金 981,351千円 2.6%
繰入金 593,000千円 1.5%
雑収入 166,113千円 0.4%
その他 20,073千円 0.05%

支出

保険給付費 19,238,015千円 50.0%

納付金 15,811,528千円 41.1%

保健事業費 1,188,408千円 3.1%
財政調整事業拠出金 519,758千円 1.4%
予備費 1,125,705千円 2.9%
事務費 469,720千円 1.2%
その他 110,832千円 0.3%

保険給付費

みなさんが病気やけがをしたときの医療費や、出産・傷病時の手当金のための支出です。

納付金

高齢者の医療費として国に支出します。健保財政にとっては重い負担です。

保健事業費

みなさんの健診や特定保健指導、体育奨励事業等のための支出です。

子ども勘定

子ども子育て世帯を全世代・全経済主体が支える制度が創設され、それに伴い国に代わって保険料を徴収し、子ども子育て支援金として国に納めます。国は、支援金を財源として少子化対策を促進するための施策を行います。収支予算額は、8.5億円となりました。

収入

子ども・子育て支援金収入 852,277千円

その他 3,003千円

支出

子ども・子育て支援納付金 800,273千円

予備費 54,306千円
その他 701千円

介護勘定

健康保険組合では市区町村に代わり、40歳以上の人の介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納めています。高齢者の増加に伴って介護納付金も増加しており、今年度の収入支出予算額は49.5億円となりました。

収入

介護保険収入 4,951,829千円

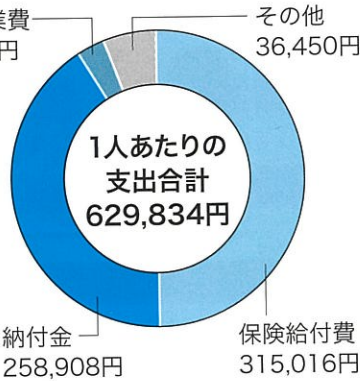
その他 3,226千円

支出

介護納付金 4,429,334千円

予備費 525,071千円
その他 650千円

支出を
1人あたり
で見ると…



被保険者数	61,070人
平均標準報酬月額	431,320円
総標準賞与額	84,768,247千円
平均年齢	44.50歳
扶養率	0.80人
前期高齢者加入率	2.49%

予算の基礎数値 (一般勘定)

令和8年度 予算の お知らせ



健康保険組合の令和8年度予算が、令和8年2月13日の組合会において可決されました。今年度は、例年による医療費の動向及び診療報酬の改定を見込んで予算編成を行いました。また新たに子ども勘定が新設されました。

収入支出予算額

健康保険

384億6,397万円

介護保険

49億5,506万円

子ども・子育て支援金

8億5,528万円

保険料率

	被保険者	事業主	合計
健康保険	45.50/1,000	45.50/1,000	91.00/1,000
介護保険	9.00/1,000	9.00/1,000	18.00/1,000
子ども・子育て支援金	1.15/1,000	1.15/1,000	2.30/1,000

※健康保険は調整保険料率1.3/1,000を含む

おもな収入

■保険料収入

健康保険組合の収入のほとんどは、みなさまからの保険料です。8年度は、昨年より8.9億円増加の358億円を計上しました。

■繰越金・繰入金

医療費や納付金の支出に充てるため、前年度決算残金から9.8億円を繰越金として、準備金等から、5.9億円を繰入金として計上しました。

おもな支出

■保険給付費

みなさまがお医者さんにかかったときの自己負担以外の医療費や各種手当金などは、保険給付費から支出されます。8年度は、高額薬剤や医療技術の進歩などによる医療費増加や診療報酬改定を考慮して、192億円を計上しました。

■保健事業費

みなさまが受けている健診や特定保健指導、健康づくりのための各種施策は保健事業費から支出されています。また8年度は、健康経営支援事業を新たに予算化しました。8年度も引き続き健診の受診率の向上、みなさまの健康づくりを積極的に推進し、11.9億円を見込みました。

■各種納付金

みなさまが納めている保険料の一部は、高齢者のための医療費として国へ納付されています。8年度は、65～



74歳の医療費(前期高齢者納付金)として68.4億円、75歳以上の医療費(後期高齢者支援金)として89.7億円支出します。

これは、支出の約41%を占めており、健康保険組合財政の大きな負担となっております。

